

久留米市 農業委員会だより

〔発行日〕 令和元年 8 月 1 日



久留米市イメージキャラクター

第 8 号

発行：久留米市農業委員会 TEL：0942-30-9236 FAX：0942-30-9717 E-mail：noui@city.kurume.fukuoka.jp

主な内容

- 令和元年度 農業委員会活動目標・計画
- 農地を適正に管理しましょう
- 全国農業委員会会長大会に参加



新規就農者の紹介

高山 祐貴さん
(田主丸町森部)

田主丸町の耳納連山の麓で巨峰や安芸クイーンなど6種類のぶどうを作っている高山さん。

「毎日ながめている耳納山麓の自然の風景が大好きです」と目を輝かせています。

就農して6年目を迎えた現在は、両親に教わりながら、ぶどうの他、柿やミニトマトも生産しています。

自分が作ったぶどうを食べたお客さんから「おいしい」と言われた時や、ぶどう生産者の先輩から「いいぶどうができたな」とほめられた時に喜びを感じるそうです。

将来は、野菜や果物でお客様に喜んでもらえる特産品を作り、経営面でも独り立ちしたいと話していました。

全国農業委員会会長大会へ参加

5月27日(月)、東京都の文京シビックホールにおいて、約1千8百人の全国の農業委員会会長や、多数の国會議員の来賓などが参加し、令和元年度全国農業委員会会長大会が開催されました。

大会では、「食料・農業・農村政策の強化に向けて、人と農地対策を通じた地域の再生を目指して、」政策提案等が決議されました。

大会終了後には、決議された提案等について、国に対する代表要請が行



▲大会の様子



▲研修会の様子

われしました。久留米市農業委員会からも、笠幸夫会長が参加し、同内容について国會議員へ要請活動を行いました。翌日には、福岡県農業委員会会長等特別研修会が行われました。県内の農業委員会会長が一堂に会し、地域での話し合い活動推進に向けた農業委員会の役割や、農地情報公開システムをめぐる状況についての勉強会を行い、見識を深めました。

農地の貸し借りの申し込みを受け付け

農業委員会では、8月1日(木)から8月30日(金)までの間、農地の貸し借り(利用権設定)の申し込みを受け付けています。

希望される方は、申出書を貸し手・借り手の連名で作成し、農業委員会事務局(市役所15階)または、各事務所(各総合支所産業振興課内)へ提出してください。

申出書は、同事務局(各事務所)に準備しています。

なお、今回の申し込み分は、11月26日(火)からの貸借契約になります。

統計調査にご協力ください

国は、令和2年2月1日現在で「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される大切な調査です。

12月中旬から調査員が皆様のところを訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

☎ 市総務部総務課 統計チーム
0942・30・9053

編集後記

令和に元号が変わって、早いもので4カ月が経ちました。新しい元号にも大分慣れてきた頃ではないでしょうか。

さて、現在の農業委員・農地利用最適化推進委員の任期も残り一年を切り、仕上げの一年に入ったと感じています。

今回掲載した令和元年度の活動目標の達成に向けて、農地等の利用の最適化を一層推進して行きたいと考えています。

まだまだ暑い日が続きますので、皆様熱中症には十分注意なさってください。

農業委員会 広報部会

農地を適正に管理しましょう

遊休農地は困りもの

遊休農地は、雑草の繁茂や病害虫の発生、イノシシ等の有害鳥獣の出没の原因となるなど、周辺農地や近隣にお住まいの方々に悪影響を及ぼすことに加え、火災や防犯上の危険も懸念されます。

農地を一度荒廃させてしまうと、元の状態に戻すには大変な時間と労力が必要となりますので、適宜草刈りや耕起をするなど、農地の適正な管理をお願いします。

農地パトロールを行っています

農業者の高齢化や担い手不足により遊休農地（耕作放棄地）が年々増加する傾向にあります。

当農業委員会では、7月から9月にかけて、遊休農地の早期発見・発生防止等を目的として、農地パトロールを行っています。

調査の際は、農業委員や農地利用最適化推進委員が、あなたの農地に立ち入ることがあります。また、調査の結果、所有者の方に「利用意向調査」の文書を送付することがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

令和元年度の活動目標 及び その達成に向けた活動計画

久留米市農業委員会では、農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)を図るため、平成29年度に活動指針を定めました。

活動指針に基づいた今年度の農業委員と農地利用最適化推進委員の主な活動目標、活動計画は次のとおりです。

● 担い手への農地の利用集積・集約化

目 標	集積面積 6,792 ha (うち新規集積面積 134 ha)
	目標設定の考え方: 農地等の利用の最適化に関する指針による
活動計画	8月,1月 ・広報紙で農地利用集積計画による利用権設定の制度等を周知。 10月,3月 ・農地の利用集積に向けた掘り起こし活動 (更新申出がない人への意向確認) 5月,11月 通 年 ・農地中間管理事業の利用 ・農地銀行制度を活用し、希望する農家へ農地を斡旋する。 ・集落営農法人設立への参画 ・農家へ実施した農地の活用についてのアンケートをもとに、戸別訪問を実施し、農地を斡旋する。

● 遊休農地の発生防止

目 標	遊休農地の解消面積 15.8 ha			
	目標設定の考え方: 農地等の利用の最適化に関する指針による			
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		64人	7月~9月	10月
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期
		11月末~1月		2月~3月
その他	日頃の農地パトロールを通じた解消指導			

● 新規参入の促進

参入目標数	20 経営体	参入目標面積	10 ha
活動計画	通 年 ・新規就農の相談業務及び支援 ・就農の手引き(パンフレット)の配布 ※農地や農業施設の取得、就農支援資金の制度、技術習得のための研修紹介等記載しており、就農希望者に配布すると共に就農推進を行う。 ・農業次世代人材投資資金対象者のサポート 8月,2月 ・農業委員会だよりによる広報活動		

遊休農地解消の取り組みを紹介します

久留米市東部の山本町・草野町では、手島富士雄農業委員が理事を務める「農事組合法人 山辺の里」が後継者不足などにより荒れてしまった農地を借り受けて、作付けができるようになる状態まで回復させ、そばを栽培する取り組みが行われています。そばは春と秋の年2回収穫することができ、収穫前には白くきれいな花が農地の一面に咲きほこるため、景観的にも「きれい」と評判です。

収穫されたそばは、乾麺などに加工されて販売されています。同法人のJAくるめの担当者は、いずれはJAくるめ青年部「草野山本支部」とも協力して、遊休農地の解消に努めたいと語っていました。また、そばの花の咲くシーズンには花見を催したり、農地周辺の久大本線を通る列車のなつ星の中で栽培したそばを提供できたらという今後の夢も話していました。



▲ 解消前の遊休農地



▲ 解消後の農地一面に咲き誇るそばの花



▲ 収穫はコンバインで一気に



▲ 収穫したそばを使ったそば打ち体験